



園便り 水無月

令和2年6月1日
こころの保育園文京西片

緊急事態宣言が解除され、6月は自粛のお願いはしておりますが保育園も通常開所となりました。4、5月は登園自粛にご協力頂き、本当にありがとうございました。

コドモンに登録して頂いてからこれほどすぐに連日活用するとは思っておりませんでした、ご確認頂き助かりました。ありがとうございました。

本日より子ども達の登園も増え、小さいお友だちは久しぶりの保育園に泣いてしまう姿もありましたが、思っていたよりも保育園の生活を覚えていた様子が見られました。幼児クラスでは久しぶりのお友だちに会えたことが嬉しいようで、楽しそうに一緒に遊んで過ごしていました。お休みの期間にお話が上手になり、背も大きくなりましたね。

保育園生活が始まるとまず人の多さに疲れてしまいますので、お休みの日はゆっくりと休み、少しずつ元の生活にして行きましょう。2ヶ月お休みされていた方や、今月もお休みされる方もおりますので、子ども達の様子をみながらまず保育園生活に慣れることから始めて行こうと思っております。朝の起きる時間や生活の流れを始め、運動量や暑さなども少しずつ身体を慣らしていけるといいですね。

登園自粛の期間中、講談社の『おともだち』『テレビマガジン』の編集さんから、おうちにいる子どもたちへ塗り絵や切り絵を頂きました。おたよりと同じ場所に格納しておきますので、よろしければご家庭でお使いください。今後、また日常が戻りましたら編集さんと保育園でイベントを実施したいお話も出ておりますので、楽しいイベントができる日々が早く戻る日を心待ちにしております。

先日コドモンでもお伝えしましたように、今年度の夏祭りは園内で3密を避けることが難しいことから実施を中止としました。代わりに、保育の中でクラスごとにお祭りの雰囲気を楽しみ、給食メニューでお祭りのようなものを出し、お土産なども用意できたらと思っております。

現在、水族館や博物館などの室内の遊戯施設は団体受付を中止しているため、今後の遠足や大きな行事につきましても中止や延期となる可能性もあります。できる限り中止でなく変更という形で考えて行きたいと思っておりますので、近くなりましたらまたお伝えいたします。今年度は年間の流れも色々と変更点が多くなって来ると思いますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

7月の行事予定

7月 7日(火) 七夕会

※プールについて

プールを設置しての水遊び活動は検討中です。

区役所からの案内がきましたら改めてお知らせいたします。

暑い日は水遊びをしますので体をふくタオルのご準備をお願いします。



ほけんだより

梅雨の季節がやってきました。この時期は急に暑くなる日があったり、肌寒い日があったりと体調を崩しがちです。汗もかきやすくなるので衣類の調節にいつも以上に気を配るようにしましょう。汗疹や虫刺され部分がとびひになると患部をガーゼなどで覆わないと登園できなくなってしまうので、お肌のケアをお願いします。園でも、手作りの虫よけスプレー等に対応して行きますので、ご理解ご協力をお願いします。



▽皮膚のケア

子どもは新陳代謝が活発で、たくさんの汗をかきます。放っておくと皮膚（ひふ）のトラブルにもつながるので、体を清潔にして快適な毎日を送れるようにしましょう。下記の他に濡れタオルで優しく拭き取ることも効果的



汗をかいたら、こまめにシャワーを浴びましょ

お風呂上がりは、バスタオルでしっかり体を拭きましょう。あせもができていない時は、上から優しく押さえて水気を取りま



乳児には、お風呂上がりの清潔な状態で、保湿クリームをつけましょう。

歯みがきのポイント

- ひざの上に子どもの頭を乗せ、寝かせみがきをします。
 - 鉛筆と同じように歯ブラシを持ち、軽い力でみがきます。
 - 奥歯の溝、歯と歯ぐきの間、歯と歯の間、歯の裏は特に丁寧にみがきます。
 - 前歯は歯ブラシを 90° にあててみがきましょう。
 - 歯と歯ぐきの間は歯ブラシを 45° にあてましょう。
- 虫歯ゼロの健康な歯を目指して、1本ずつ丁寧にみがいていきましょう！



熱中症

熱中症は、日射病、熱射病などの総称です。日射病は、戸外で強い直射日光にさらされることが原因で、熱射病は室内でも気温の高い場所に長時間いたために起こることが原因です。



熱中症の症状

日射病…顔は赤く、呼吸が荒くなります。皮膚感覚は熱く、体温が上がっても汗が出ず、めまい・頭痛・吐き気などを伴います。
熱射病…顔は青白く、大量の汗をかきます。皮膚感覚は冷たく、めまい・吐き気を伴います。

なぜ子どもは熱中症になりやすい？

子どもは体温調節がうまくできず、温度変化の影響を受けやすい、また衣服の着脱も水分補給も一人で行うのが難しいため、容易にかけやすいのです。

車や家の中でも熱中症になります

特に車中では、気温が高くなくても高温になるので、子どもを一人にするのは絶対に避けましょう。

予防のポイント

- 日中は帽子をかぶって外出をしましょう。日除けのあるベビーカーも照り返しで暑くなるので、散歩はできるだけ短時間で切り上げましょう。
- 炎天下での遊びは、長時間に及ばないように注意しましょう。海や屋外プールなどの水辺でも、30分毎に日陰で休息をとるようにしましょう。
- 肩まで隠れる、吸湿性、吸水性に優れた衣服を選びましょう。
- 水分補給は、電解質の入っている経口補水液などの飲み物を与えましょう。

